

11 管理施設等設置工事

史跡内に整備した園路の西南コーナー部分は、旧地形復元のため園路勾配が急勾配でかつ急カーブになるため、転落等の防止のため木製の転落防止柵を設けた。

当初、鋼製の軽快な転落防止柵の設置を検討していたが、明日香村の景観条例に従い、国土交通省が整備している公園部の転落防止柵と仕様の統一を図り、防腐処理を施した太い丸太柵に変更した。なお、一連の工事の後、平成28年度にこの東側の園路沿いにロープ柵を追加発注した。

散策園路は、国営公園の景観デザインに合わせた自然色アスファルト舗装を施した。国営公園の園路仕様にあわせ自然石縁石を設け地被植栽との見切りを設けた。

なお、園路の一部に広がりを持たせ、古墳正面には解説板や地形模型を設置し、鑑賞と情報提供等の機能をもつ広場とした。西側には体験学習施設として乾拓を体験できる広場を整備をした。

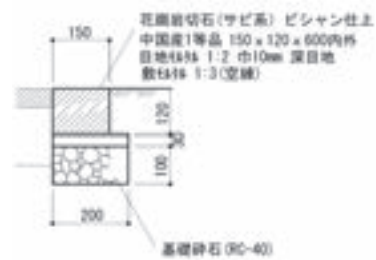
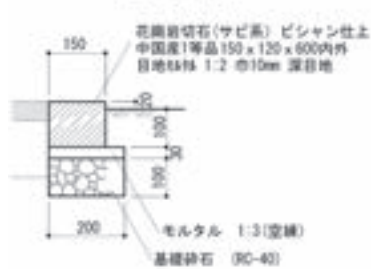
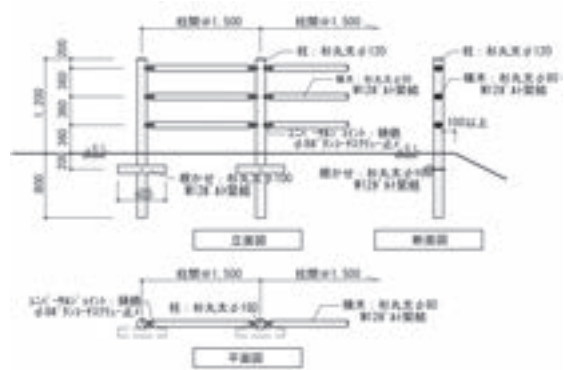
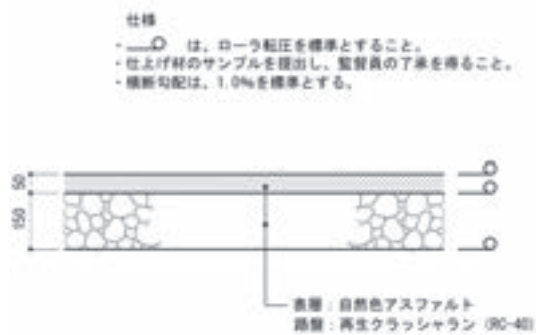
墳丘南側の盛土整備した斜面地の中に史跡指定地の境界があるため、その位置に管理のための簡易なプラ境界杭を12本設置した。

安全柵、追加分含む距離位置不明

安全柵	22m（追加含まず）
自然色アスファルト舗装	406㎡
園路縁石	113m
広場縁石	60m
史跡指定地境界杭	12本



Fig.181 園路広場平面図



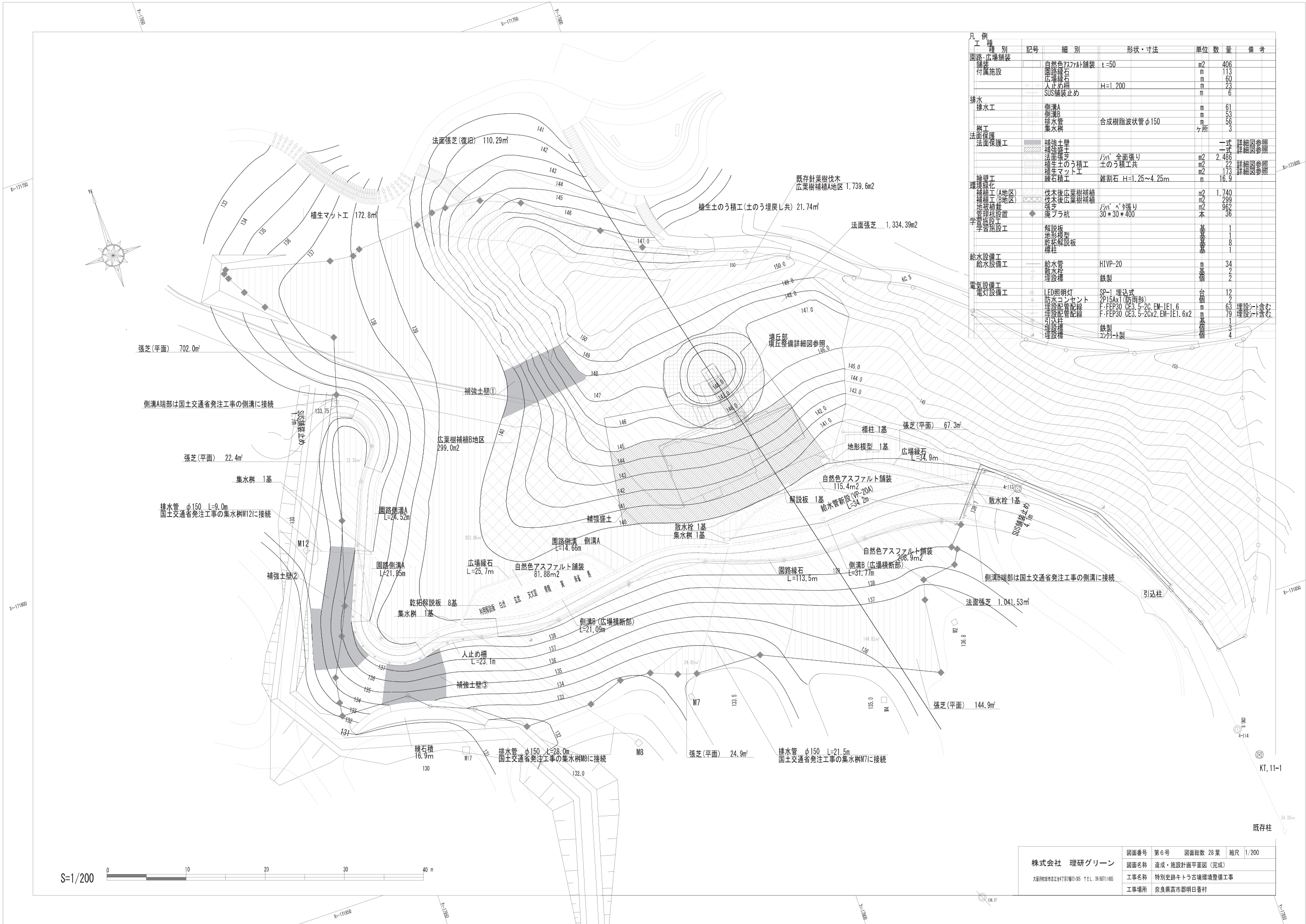


Fig.190 竣工図 (全体平面図)